



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

上場取引所 東

コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長兼内部統制室長 (氏名) 山田 力也

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	50,218	1.9	4,106	6.8	4,372	8.5	2,521	7.7
29年3月期第2四半期	49,292	6.3	3,844	4.5	4,031	2.7	2,342	0.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,965百万円 (9.7%) 29年3月期第2四半期 2,702百万円 (0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	132.69	
29年3月期第2四半期	123.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	111,692	55,591	43.9
29年3月期	109,725	53,078	42.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 48,992百万円 29年3月期 46,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		20.00	40.00
30年3月期		22.50			
30年3月期(予想)				22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	5.9	9,800	23.3	10,000	18.8	5,700	12.8	299.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	19,012,000 株	29年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	6,490 株	29年3月期	6,382 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,005,581 株	29年3月期2Q	19,005,650 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第2四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により一部企業において収益・雇用情勢・所得環境の緩やかな回復基調が続いているものの、欧米の政治情勢や地政学的リスクの高まり、中国をはじめとするアジア新興国の経済動向等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、個人消費の低迷や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益502億18百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益41億6百万円（同6.8%増）、経常利益43億72百万円（同8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億21百万円（同7.7%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、251億60百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は、27億1百万円(同12.3%増)となりました。

減収の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したものの、事業の選択と集中を図り、収支構造の見直しを行ったことによるものであります。増益の主な要因につきましては、前期稼働センターの庫内改善と新規業務開始によるものであります。

新規受託の概況につきましては、8社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した3社を含めた11社のうち10社稼働しております。残りの1社につきましては、平成29年10月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、104センターとなりました。(前連結会計年度末比9センター増加)

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、250億58百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益14億1百万円(同2.4%減)となりました。

営業収益につきましては、前年同期比10億32百万円増加いたしました。増収の主な要因は、物量等の増加と前連結会計年度に連結子会社を取得したことによるものであります。

営業利益につきましては、営業収益が増加したものの、燃料単価上昇による燃料費の増加と外注費の増加等により前年同期比35百万円減少いたしました。

今後につきましては、特別積合事業において、運賃値上げの交渉を引き続き実施してまいります。また、平成29年7月より愛知県豊橋市にて3ヶ所目となる同業他社との施設の共同利用及び配送を開始しております。今後も同業他社との取引を拡大し、業務の効率化を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比19億67百万円増加し、1,116億92百万円となりました。これは主に、営業収益と連結子会社の増加により受取手形及び売掛金が増加したものの、税金や設備投資の支出のため現金及び預金が減少したことにより流動資産が1億38百万円減少したことと、固定資産が21億6百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比5億46百万円減少し、561億1百万円となりました。これは主に、借入金の返済が進んだことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比25億13百万円増加し、555億91百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益25億21百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.6%から43.9%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,050億円（前年同期比5.9%増）、営業利益98億円（同23.3%増）、経常利益は100億円（同18.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益57億円（同12.8%増）を見込んでおります。

なお、軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間34百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,314	8,006
受取手形及び売掛金	12,815	13,741
商品	19	18
貯蔵品	97	108
その他	1,451	1,719
貸倒引当金	△30	△66
流動資産合計	23,667	23,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,492	30,470
土地	39,614	40,531
その他(純額)	10,586	10,780
有形固定資産合計	79,694	81,781
無形固定資産	2,045	2,104
投資その他の資産	4,318	4,278
固定資産合計	86,058	88,164
資産合計	109,725	111,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,038	6,420
短期借入金	19,221	19,236
未払法人税等	1,221	1,588
賞与引当金	801	879
役員賞与引当金	34	24
厚生年金基金解散損失引当金	6	-
その他	6,821	6,603
流動負債合計	34,146	34,751
固定負債		
長期借入金	9,000	7,859
退職給付に係る負債	5,656	5,743
厚生年金基金解散損失引当金	42	42
その他	7,801	7,703
固定負債合計	22,500	21,349
負債合計	56,647	56,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,466	6,466
利益剰余金	33,794	35,936
自己株式	△9	△9
株主資本合計	46,799	48,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	291
退職給付に係る調整累計額	△264	△240
その他の包括利益累計額合計	△12	51
非支配株主持分	6,291	6,599
純資産合計	53,078	55,591
負債純資産合計	109,725	111,692

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	49,292	50,218
営業原価	44,239	44,837
営業総利益	5,052	5,380
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	36
役員報酬	277	294
給料及び手当	245	244
賞与引当金繰入額	38	40
役員賞与引当金繰入額	8	21
退職給付費用	13	11
その他	624	625
販売費及び一般管理費合計	1,208	1,274
営業利益	3,844	4,106
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	23
固定資産売却益	56	72
助成金収入	10	47
売電収入	235	244
雑収入	146	149
営業外収益合計	471	537
営業外費用		
支払利息	114	101
売電原価	131	127
雑損失	38	42
営業外費用合計	284	271
経常利益	4,031	4,372
特別利益		
固定資産売却益	39	-
投資有価証券売却益	19	-
関係会社株式売却益	45	-
特別利益合計	105	-
特別損失		
固定資産除却損	-	10
減損損失	26	-
物流センター移転閉鎖損失	37	95
損害賠償金	51	-
子会社移転費用	61	-
特別損失合計	176	106
税金等調整前四半期純利益	3,960	4,265
法人税、住民税及び事業税	1,270	1,438
法人税等調整額	△11	△61
法人税等合計	1,258	1,376
四半期純利益	2,701	2,888
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,342	2,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	359	367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	45
退職給付に係る調整額	29	31
その他の包括利益合計	0	77
四半期包括利益	2,702	2,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,337	2,586
非支配株主に係る四半期包括利益	365	379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	25,266	24,026	49,292	-	49,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	954	1,022	△1,022	-
計	25,334	24,980	50,315	△1,022	49,292
セグメント利益	2,405	1,436	3,841	2	3,844

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、継続的な地価下落により収益性が著しく低下した近物レックス㈱(連結子会社)の一部の賃貸地の固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において26百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	25,160	25,058	50,218	-	50,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66	972	1,039	△1,039	-
計	25,227	26,031	51,258	△1,039	50,218
セグメント利益	2,701	1,401	4,102	3	4,106

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。